



歴史を伝える駿河東部の中心地、 富士の絶景と駿河湾の恵みに驚く。

静岡県東部に位置する沼津市は、古くから東海道が通る交通の要衝で、地域の政治・経済・文化の中心地として発展してきました。北に霊峰・富士山を望み、駿河湾の美しい海岸風景と温暖な気候にも恵まれ、多くの人から愛される保養地としても知られています。首都圏から100km内の漁業基地として再注目される沼津港は、駿河湾と黒潮が育む種類豊富な鮮魚を一大消費地へ届けています。



取材・写真協力：沼津市、沼津港深海水族館

① 大瀬崎と駿河湾越しの富士山

市内各所からは多彩な富士山の絶景が眺められます。駿河湾に1kmほど突き出した大瀬崎越しの富士もそんな絶景の一つ。国の天然記念物ビャクシン樹林や淡水の神池があります。



② 沼津御用邸記念公園

1893(明治26)年造営の皇族方のご静養などに利用された御用邸。記念公園として公開され、復元された家具・調度品から往時の暮らしが偲ばれます。平成28年国指定名勝となりました。



③ 沼津港深海水族館・シーラカンスミュージアム

最深2,500mを誇る駿河湾と世界の深海生物をテーマにした日本初の深海水族館。“生きた化石”と呼ばれるシーラカンスの冷凍展示が見られるのは世界でここだけです。



④ 戸田造船郷土資料博物館

幕末、津波で軍艦を失ったロシアの船員たちが戸田の船大工たちの協力を得て造った、日本初の本格的洋式帆船「ヘタ号」の造船資料や日露友好の歴史を紹介しています。



⑤ タカアシガニ

駿河湾には全長3m超の世界最大のタカアシガニが生息しています。戸田地区では昔から底曳き網漁が行われてきました。長い足に詰まった身は、淡泊でさっぱりした味わいです。